

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	その他／2年次演習2 (Seminar2(2nd year))		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	財務会計・財務分析に関する基礎的知識の修得		
担当者名 (Instructor)	細田 雅洋(HOSODA MASASHIRO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	GBU2010	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	コンセントレーション: アカウンティング & ファイナンス領域		

#### 授業の目標 (Course Objectives)

春・秋学期を通じて、財務会計に関する基礎的内容を一通り理解し、自分の言葉でアウトプットできるようにする。日商簿記2級(最低3級)レベルを目指して簿記の知識も各自で習得し、一般的な会計英語を理解・説明できるレベルに到達することも目標とする。

Through the spring and fall semester, you will come to generally understand the basic concepts of financial accounting and be able to put them into your own words. Furthermore, we aim for all individuals to have knowledge of bookkeeping equivalent to level 2 of the JCCI bookkeeping qualification (minimum level 3). Additionally, it is our objective to have everyone be able to understand and explain basic English accounting terms.

#### 授業の内容 (Course Contents)

企業の経営分析や価値評価には、財務会計の知識が不可欠である。本ゼミは、基本的にテキストをじっくり輪読していく形式で財務会計の知識を深めていく。学生を複数のグループに分けてテキストの章を割り当て、各グループでしっかりと内容を理解して報告し、質問等に対応する。そのパフォーマンスは評価にも反映される。学期の最後には、3~4人程度に分かれて特定のテーマに関するグループプレゼンテーションを行う。

Knowledge of financial accounting is essential for business analysis and the valuation of companies. This seminar primarily uses a format which focuses on gaining a solid understanding of the text to deepen your understanding of financial accounting. Students will break up into multiple groups and be assigned chapters of the textbook. After having a firm grasp of the material, each group will have to present and respond to questions. That performance will be reflected in your evaluation. At the end of the semester, students will be separated into groups of 3 to 4 people and make a final presentation on a specific accounting topic.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション・ガイダンス・アイスブレイキング
2. 設備投資と研究開発(1)
3. 設備投資と研究開発(2)
4. 資金の管理と運用(1)
5. 資金の管理と運用(2)
6. 国際活動(1)
7. 国際活動(2)
8. 税金と配当(1)
9. 税金と配当(2)
10. 財務諸表の作成と公開
11. 企業集団の財務報告(1)
12. 企業集団の財務報告(2)
13. グループプレゼンテーション(1)
14. グループプレゼンテーション(2)及び個別面談による知識習得の確認

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

報告を割り当てられた学生のみならず、全ての学生が講義前にテキストの該当箇所を読んでくることが期待される。また、講義内での積極的な質問や発言を高く評価します。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

出席を基礎としたゼミへの参加度(40%)/グループワークによる報告・プレゼン(30%)/ゼミ内における積極的な発言・貢献(20%)/個人ワーク(10%)

#### テキスト (Textbooks)

1. 桜井久勝・須田一幸、2021、『財務会計・入門 第14版』、有斐閣 (ISBN:4641221766)  
(必要に応じてプリントを配布する)

#### 参考文献 (Readings)

1. 田中智子、2018、『会計とコーポレート・ガバナンスの英語』、中央経済社 (ISBN:978-4-502-27001-7)
2. 渡部裕巨・片山覚・北村敬子編、2020、『検定簿記講義 3級商業簿記 2020年度版』、中央経済社 (ISBN:4502815638)  
講義内で指示する

#### その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

テキストの改訂版が今後出版されるかもしれないが、ゼミでは最も新しいものを用いる予定である。ゼミでのイベント・交流には積極的に参加すること。できれば留学生などを呼び込んで国際的かつ活発なものにしていきたい。

#### 注意事項 (Notice)